



※※※ 「消費税 1%」の議論に、日本の悪い点が凝縮 ※※※

選挙後にしばらく音沙汰のなかった飲食料品の消費税減税ですが、最近になって令和 9 年 4 月～令和 11 年 3 月に限定して 8%→1%に引き下げという話が出てきました。その経済的効果や税収へのインパクトはさておき、「0%だとレジのシステム改修に 1 年程度かかるから、0%でなく 1%にする案が有力になった」という部分が個人的にはすごく引っかかりました。

消費税率の変更だけでシステム改修に 1 年？日本ってどれだけ IT 後進国なのよ、って思いませんか？本部のサーバーの設定をポチッと変えれば、10 秒くらいで全国全てのレジの設定が完了するんじゃないの？どうなってんのよ？

もともと日本の消費税にも 0%という概念は存在します。それは輸出です。日本の消費税は「日本国内での資産の譲渡につき課税される」税金のため、国外に輸出した商品などの売上にかかる消費税は 0%になります（輸出免税と言います）。ただ「国外で販売した場合」というシチュエーションなので、それをレジで打つ、という場面は基本的にありません。なのでレジの基本的な概念として 0%が想定されていないのです。そのため、レジのシステムの根幹の計算プログラムを書き換えないといけなくなります。

またこの輸出免税もそうですが、もし飲食料品の消費税が 0%になった場合も、これは「0%課税売上」であり、「非課税売上」「消費税対象外売上」とは消費税申告時の意味合いが全く異なる（詳細は割愛しますが）ので、0%だからレジでの消費税を無視しちゃえばいいじゃん、というわけにもいきません。令和最大の改悪であるインボイス制度もからむので、なおさらややこしいのです。

なるほど、その点 1%にするなら、10%と 8%に 1%を付け加えるだけなので、10 秒くらいで設定が完了するわけですね。政府案には 1%への改定ならレジのシステム改修は 3~6 ヶ月で済むとあります。

ん？3~6 ヶ月？？待て待て、1%こそ設定をポチッと変えればさすがに完了するだろうよ！ところが、日本の個人の飲食店や地方のスーパーなどでは、ネットに繋がっていないレジ、使い切りのPOSレジなどが現役で大量に動いているのです。それを業者が 1 軒ずつ店舗を回って機器を入れ替えたり手作業でアップデートや設定変更したりしたら・・・なるほど、確かに 3~6 ヶ月かかりますな・・・

結局何が悪いかって、日本の消費税の仕組みがツギハギだらけの複雑怪奇な体系になってしまってるからです（レジのシステムもだけど）。こんなシステムしか構築できない日本なんだから、そりゃあマイナンバーだって他国と違って使えないものになるよね・・・日本が世界に誇れる技術や文化はたくさんあって、それは日本人としての誇りでもあるのですが、こと消費税のシステムに関してはホコリかぶってるなあ、と思っちゃいました。